

タットン会 通信

2009.

11.28

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することも出来ます。

※ 活動中などの写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！(事務局は青バッチです)
 (10月の参加費は7,500円 寄付金は23円 計 7,523円でした。ありがとうございました)



クルージング

11月3日、この日は障がいのある方々と「海の会マリンキッズPOO」のヨットクルージングを楽しんできました。タットン会に参加している仲間にも、数人お会いできました。

空は晴れ渡っていましたが、沖は白波が立つほど…。沖に出てみると大揺れとすごい波しぶきで写真も撮れませんでした。…そんな中歓声を上げながら喜ぶ子どもさんもいれば、「怖くて…もういいです～」と感想を漏らす保護者もおられました。

この会の方々は、肢体不自由児にも狭い階段を背負って上ったり(もちろん降りたり)しながら甲板に乗せてくれたり…と、滅多に出来ない体験をさせてくださりサービス精神旺盛の心がけに脱帽でした。障がいといっても様々な形があり、そんな中にもこのような多くの体験をさせてくれる場がもっともっと増えたらいいな！と強く感じています。



さて、10月24日の**タットン会** —

私は学校行事の為参加は出来ませんでしたが、県立保健福祉大生の阿見さんをチーフに54(チャレンジャーさん27、保護者・ボランティアさん27)名の仲間達で楽しめたとのこと。県大生のコメントでご紹介します。



先月のタットン会は人数も少なかったこともあり、全体的に伸び伸びプレーができました！バドミントンでは、チャレンジャーさん同士の試合も活発で、きっとチャレンジャーさん自身も有意義な時間を過ごせたのではと思います。今後もチャレンジャーさん同士の試合やラリーを増やしていければ、ボランティアさんとはまた違った刺激を感じられるのかな？とも思います。 阿見綾子

最初に体育館の中をみんなで歩くと、カセットの準備が間に合わず「さんぽ」を流すことができませんでした。みんなが歌いながら歩いてくれたので良かったのですが、チーフを補助する立場としては反省点でした…。平野さんが駆けつけカセットをセッティングしてくださり、ディズニー体操からは音楽と共にできました！

全体的にボランティアさんが少なく、全体を見て回れる人がいませんでした。安全面やけが人のチェック、途中から来てペアがないチャレンジャーに気付くためにも、全体を見て回る人は何人かいた方が良くと思いました。ボランティア不足の問題です…。



卓球は、ボランティアの方で卓球がとても強い人が2名ほど来てくださり、1くんがとても楽しそうにやっていました！(実は私はこれまで1くんとそれほど関わりがなかったのですが休み時間中に試合の得点のカウントを頼まれたり、ダブルスに誘ってくれたり、とても生き生きとしていました。

手話ソングは、前に出てやっていると、ほとんどみんなが完璧に近づきつつあるのがわかります！なんか、感動です。そろそろ次の「友達になるために」に移りたいです！反省会では、バドミントンをうまく回すために、コート内でぐるぐるとローテーションすると良いのではないかという意見も出ていました。 阿部南美



手話ソング

私は当日、バドミントンのCDグループを担当していました。CDグループはまだラリーを続けることが難しい方もいらっしゃると思いますが、中には数を続けて打ち合うことができる方もいらっしゃいます。そのような方たちの中で時間を区切ってローテーションをして、チャレンジャーさん同士いろいろな人と打てるようにしま

した(ボランティア不足ということもありますが)。チャレンジャーさん同士だと、ラリーがなかなか続かないこともあります。相手が打ちやすいところに打とうとしたり、自分でシャトルを取りに行くことが多くなったりと、良い面もあると思いました…。

また、今回印象的だったのは、チャレンジャーさん同士の交流です。Mさんの紹介で初めて参加した方がいらっしやり、はじめはMさんと一緒に行動されていましたが、バドミントンを通して他のチャレンジャーさんとも交流して、休憩時間には楽しそうにお話をされていました。他にも、チャレンジャーさん同士で打っている時に相手のことを「上手〜!」「すごい!」と誉めたりしている方もいらして印象的でした。いろいろな人との交流が自然と生まれる☆スポーツの素敵なおところですね!(^o^)

西方美貴



お知らせ ■ タットン会ホームページ掲示板でも紹介させていただきましたが…

10月17日の神奈川新聞に、中澤麻衣さんの記事が載っていました。

通勤に使うバス停に「ベンチがあれば便利と思う人は多いはず」と思い続けてきた中澤さん。

その思いが実現するまでについて書かれた、バス会社と一個人の素敵な記事です。タットン会でも、みんなに注意を呼びかけてくれたり…杖を突きながらも、自分のできることを自ら考えて行動したりと、中澤さんには、いつも感心させられています。自分のためだけでなく、周りのことをも考え実行している姿はタットン会の姿そのもの! ~横須賀市議の藤野英明さんのホームページ(毎日見ってます)から教えて貰いました~
素敵な方がたくさんいますね!

【保護者からの感想】

- ※1 久しぶりの参加で楽しそうでした。いろいろな方とバドミントンをしていました。バドミントンの上達というより、いろいろな方との交流が何より嬉しいです。(N様)
- ※2 自分の子供が頑張ってる卓球をやっているのを見て、自分も頑張らなければならないと思いました。(Y様)
- ※3 全体が良くまとまり、ルールも良く守れて運営されていたと思います。後かたづけもチャレンジャーさんが積極的に手伝ってくれているようで、整然と行われたと感じます。(T様)
- ※4 今日は人数が少なかったのですが、ちゃんと参加できていました…。(A様)
- ※5 だいぶバドミントンも上手になってきたようで、ラリーが続くと楽しそうですね!(T様)

感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん27名参加

- ※1 Hさんから誘っていただき相手をさせていただきました。何でも有りの楽しいダブルスでした!…(Iさん)
- ※2 …気分的にやりたくないときもありましたが、やるとすごく上手でびっくりしました!!(Aさん)
- ※3 …芋掘りが気になって仕方ないようでしたが「打ち返す」と言いながら卓球に挑んでいました…。(Aさん)
- ※4 前半は1対1で、後半は4人で何でも有りのダブルスをやりました。声をかけるときちゃんと球を見て、打っていました。…途中でペアを交代させて貰ったのですが、スムーズに卓球に入ることが出来ました。(Iさん)



余暇活動

パート 41

私は生きることに意味や答えを求め、浮き沈みしながら生きて来ましたが、そして、自分自身を大切に出来ず、周りの人を悲しませてしまうことも多々ありました。しかし、様々なボランティアやタットン会に関わるうち、意味や答えが大切なだけでなく、生きていること自体が素晴らしいのではないかということを感じ始めました。

余暇は息抜きだけでなく、私にとって、温かい気持ちも生んでいる時間になっています。 林 理沙

本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：青木・県大生
継続・新規受付・説明：県大生・事務局
全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー



《次回 2009年度の予定》

85回目 12/19 86回目 1/23 87回目 2/27
88回目 3/27 いずれも、県立保健福祉大学です!



文責
佐藤一雄

